第31回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和6年12月20日（月） 午後6時30分から午後7時40分		
開催場所	茅野市役所 8階大ホール		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	2人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
事務局	<p>第31回茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会 第31回茅野市新地域公共交通検討会議を開催いたします。</p>		
会長	<p>2 会長あいさつ 皆さんこんばんは。 年の瀬の忙しい時期にお出かけいただきありがとうございます。 今年もあと10日になりました。 明治維新、戊辰戦争、日露戦争、東京スカイツリーが営業開始した2012年なども辰年であり、辰年は私たちを驚かせる年で、また、いろいろなものが成立して行く年であります。 そのため、今年のうち「のらぎあ」の関係も本当に良いものにしていきたいと考えておりましたが、なかなか叶いませんでした。 色々な皆さんの事情、ご意見ありますので、それを取りまとめて一日でも早く、皆さんとこの地域にとってより良い地域交通を作っていくと思います。 どうぞ、ご協力をよろしく願いいたします。</p>		
会長	<p>3 協議事項 (1) (仮称) 茅野市公共交通ローリングプラン（グランドデザイン）（案）について ——資料1をもとに事務局より説明——</p> <p>今の説明で、ご質問、ご意見があればお願いいたします。</p>		
委員	<p>カバー圏域に入らない人口比率が3.2%ですが、流動する人口は結構あると考えている。そのため、必要性は高いと思いますので、そのようなことも考慮していただきたいと思います。 住んでいる方、勤めている方、市街地から観光へ行こうというような動きの方を含めるとスピード感をもってやっていけなければならないと考えている。 この会議だと幅広い交通の検討なので、我々、別荘・観光地については別途検討し、この会議に提案していった方がスムーズではないかと考えている。 3ページにあるように、いつでも行きたいところということであると「のらぎあ」で対応するのは広くて難しいと思っています。 感情的には、公共交通なので、市内を網羅していただきたいとは思いますが実際には非常に難しいエリアだと思います。 そのため、現在10ある観光協会長の中で、現在の公共交通における問題を整理し、その課題に向けて我々のエリア、観光の中で揉んでいきたいと思う。 また、委員には別荘地に関して検討していただき、別荘・観光地</p>		

<p>会長</p>	<p>部会で検討し、提言できれば良いと考えている。 個人的な意見であるが、「のらざあ」と別荘・観光地を結ぶところは重要で、ハブ&スポークとして議論するとして、別荘・観光地部会で各々検討し、この会議に提言できればありがたいと思っている。</p> <p>委員には観光・別荘地を取りまとめていただく立場ではありますので、予備の会議をされて、なおかつここで活発にご意見賜ればと思います。 別荘地の関係としていかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今後、観光地や別荘地という山間部エリアをどのようにつないでいくかということについて「のらざあ」を否定することは考えておらず、山間部と「のらざあ」をドッキングする手法を考えていきたい。</p> <p>簡単に言うと「のらざあ」+1などの言い方となるが、観光地、デベロッパーだけでなく山間部の自治体、財産区も含めざっくりばらんに話していかないと、簡単に解決できる問題ではないと考えている。</p> <p>行政任せになるのは絶対に避けるべきだし、自分の足は自分たちで確保するという意識が無いとだめだと思っている。 我々も重い腰を上げて、地域力・市民力で少し前に進めなければ、この話は永遠と続いてしまうと思う。 この会議に参加されている方は、今日も車で来ているので困っている人ではなく、交通弱者も参加していただいて、考えていく必要があると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>11ページの将来的に目指す公共交通というものですが、グリーンヒルズは現在も「のらざあ」のエリアから外れていると思います。 チェルトの森、三井の森は特定地点となっているのでグリーンヒルズも特定地点していったらよいと思う。</p> <p>14ページにIMSの実装、13ページには市街地へのアクセスの向上があります。蓼科湖方面バスは乗り継ぎをイメージしているので、これらはセットで考えていく必要があると思う。 一方で、16・17ページのスケジュールでは、蓼科湖方面バスの実証・実装が令和8年度から、IMSの実装が令和6年度から調査・研究となっています。これは、実装して試しに動かしてみないと、わからないと思うがタイミングをずらしているのはなぜでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>一点目のグリーンヒルズについてですが、「のらざあ」のエリアに含まれており、図面の青いエリア含まれているものと理解していただければと思います。</p> <p>二点目のIMSの実装については、令和6年度以降調査・研究としていますが、これはどうしてもランニングコストがかかるものですので、実際に利用される方がどの程度かわからないうちに実装するのは難しいと考え、このような表記にしている。システム会社との調整になるが、例えば令和8年度の実証の段階で、蓼科湖方面バスと「のらざあ」のドッキング以外にも、既存の通学通勤バスとの連携とか、観光路線バスも含めたIMSでの連携ができないかということは協議していきたいと考えていて、それに向けたコストも確認しながら進めていきたいという意味で調査・研究としています。</p>

委員

たしかにお金の問題もあるので、バランスよく、効率よく進めていただく必要があると思いますが、IMSというものがどのようなものか、利用者がわからないと必要性は掴みづらいのではないかと思います。うまく調整して行っていただければと思います。

会長

ちなみに運行事業者さんとしてはいかがでしょうか

委員

公共交通の定義としては、鉄道、路線バス、タクシーということで、それぞれの特性を生かしたなかでうまく組み合わせるもので、ラストワンマイルはタクシーが担っていると考えている。

「のらざあ」を中心とした移動手段ということで、わからないでもないが、色々なニーズがあるなかで、すべて「のらざあ」で担うのは無理があるように感じている。それぞれの特徴を生かし、将来的なものを作っていくことが必要であると思う。

この資料を作成した意図としては、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部改正に基づき、努力義務として作成するものとされる地域公共交通計画とするためであると考えられますが、せっかくあるインフラをダメにする形で交通計画を考えるのはいかがなものかと思う。

後に出てくると思うが、移動困難の方、車いすの方の移動を「のらざあ」ということで、それはそれで意義のあることだとは思いますが乗務員への負担も発生するもので、先ほどの3つの交通手段の特性を生かし、委ねるべきであると考えます。

「のらざあ」の充実ということで議論することは良いが、地域公共交通計画にこの案を充てるというのは違和感があります。

事務局

この計画は地域公共交通計画とは別のものです。

地域公共交通計画については、今年3月に茅野市原村地域公共交通計画を策定しています。この中では、委員からのご指摘のとおり、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通網の整備計画をまとめています。

今回のこの計画は、より具体的な実効プラン、ローリングプランとして計画している。位置づけとしては、地域公共交通計画、マスタープランの下に位置するものという考え方で結構です。

委員

IMSの導入等に向け、補助金を追っていきやすい形のものであればよいと思う。

委員

将来的に目指す公共交通ということで3つの切り口から示されていますが、3年たったときにどのようになっているのかが見えづらいと思う。

固い言葉でいうとKPIとか示されていて、1年後、どこまで近づいたのか、近づかなければ方向転換するなどすることが進行管理であると思う。

例えば12ページに、予約不成立の解消というのがあり「運行台数を8台から10台に増台し予約不成立の解消を図る」ということで、これはこれで良いが、それによりどの程度解消して「いつでも行きたいときに 行きたい場所へ しかも適正な金額で」という状況に近づいているのかが見えづらいと思いました。

そのため、現状、将来予測を示しつつ、目指すべき位置が明確になっていくとこの計画が前進している状況がわかりやすくなると思います。

事務局	<p>3年のローリングプランということですが、毎年進行管理を行って行く予定です。ご指摘のありました数値的なものですが、今回はお示ししておりませんがこれまでも「のらざあ」の利用実績をこの会議の中で報告させていただいております。</p> <p>次回、年度の報告ができると思いますが、それらを見比べながら進行管理を合わせて行っていくことになると思いますし、先ほど話の合った地域公共交通計画でも数値目標を掲げているので、その評価も報告していきたいと思う。</p>
委員	<p>一点目は、13ページに「のらざあ」の運行エリアを一部縮小させていくとあるが、現時点でのイメージがあれば教えていただきたい。</p> <p>二点目は、3年間のローリングプランで、必要があれば見直しをしていくということですが、プロセス等の変更なのか、もしくはローリングプランのゴール地点も見直しを行っていくという考えか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>一つ目の運行エリアについては、イメージはありますが、今ここでお話しすると誤解を招くような可能性もありますので具体的なお話は避けさせていただければと思います。</p> <p>二つ目のローリングプランについては、公共交通にゴールはないと思っています。そのため、どんどん更新していくものであり、課題が発生したらその対策を解消に向け進行管理を行っていくように考えております。</p>
会長	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>よろしければ承認いただける方は挙手をお願いいたします。 [挙手]</p> <p>ありがとうございます。それでは承認いただいたということで次に移ります。</p> <p>(2) 「のらざあ」の障害者等への特別対応策等について ——資料2をもとに事務局より説明——</p>
会長	<p>今の説明で、ご質問、ご意見があればお願いいたします。</p>
委員	<p>対象者のイメージ像ということで1番の最後に記載いただいている内容はわかりやすいが、2番になったとたんに対象者の基準が厳しくなっているように感じる。</p> <p>当初は、自己実現の創出ということだと記憶しているが、この基準は社協の移送サービスより厳しい気がする。</p> <p>けがなど、一時的に車いすを使わなければならない方が、むしろ「のらざあ」を使えると良い気がしますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>この資料は、自宅前停留所の申請に関わるものであり、車いす対応の要件とは別のものとなっています。</p>
会長	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>よろしければ承認いただける方は挙手をお願いいたします。 [挙手]</p>

ありがとうございます。それでは承認いただいたということで次に移ります。

4 その他

——資料3をもとに事務局より説明——

- ①車いす対応車両の導入時期について
- ②自働再割り当ての試験導入について
- ③運行車両に合わせた予約受付について

会長

今の説明で、ご質問、ご意見があればお願いいたします。

委員

③について「年度内に2台の車両で実証的に導入を計画」ということですが、この時点ではまだ8台の状態なので、アプリ予約で即時予約可能になると電話予約の方が予約を取りづらくなるのではないか。

事務局

今回の対応は予約1時間以内のものであり、現在、電話予約の場合は1時間前となっているため競合しないと考えている。

また、この予約が入って予約が取れないということはありません。

会長

他に意見が無いようなので、最後に、この会議で年内は市長ともお行き合い出来ないので、委員の方に一言お願いいたします。

市長

委員の皆様方には1年間大変お世話になりました。

公共交通を考えるとということで、正直、試行錯誤を繰り返しております。

皆さんの御立場ごとにご意見があるのは十分理解しておりますが、では何もしないで良いかということもそういうわけでもありません。

今、日本中で公共交通をどうしようかということは大きな課題となっておりますが、成功事例はどこにもありません。

どこかに成功事例があるとすれば、それを真似ればよいのですが、まちの背景も異なり、何か持ってくれば完ぺきというものはないのが現状です。

そのため、一つ一つ地元にあったよかった形のものを作っていければと思っております。

その途中には課題というものも出てくるものではありますが、山田委員の話にもあったように地域力・市民力ということではないかと思えます。役所にやらせておけば良いとか、交通事業にまかせておけばという時代ではなくなってきているので、みんなで考えていかなければならないものであり、その場がこの会議であると思っております。

皆様方には、都度、お集まりいただいていることに感謝申し上げます。

最後に一点、このローリングプランにおける公共交通の部分にタクシーの文言が無いということについてですが、私も悩んだ部分ですが、資料にあるカバー率などの話を見やすくするためということで、タクシー事業者の方には大変失礼いたしましたご理解いただければと思えます。

ただし、計画のどこかにタクシーを入れられればと思えますので、今回ご承認いただいたということで、会長に一任いただければと思えますので、よろしくお願いいたします。

今年一年間お世話になりありがとうございます。そして、また来年もどうぞよろしくお願ひしたいと思っております。

5 閉会

皆様、ご議論ありがとうございました。